

９月の園だより

令和８年　９月　１日
杉並区立西荻北子供園
園長　須田　なぎさ

やっぱり「遊び」が大事

園長　須田　なぎさ

早寝・早起き・朝ご飯で、元気に夏を過ごせましたでしょうか。今年の夏は、地震や大雨による被害が各地で見られました。警戒レベル５の大雨を経験した友人は、「命の危険を感じる雨だった」と話していました。自然災害は、いつどこで起きるか分かりません。２学期も、子どもたちが安心して過ごせるよう、園として安全をしっかり守っていきたいと思います。

夏季休業中、私たち教員はさまざまな研修に参加し、文部科学省の方や大学教授など、多くの専門家のお話を伺いました。どの研修でも共通して語られていたのは、子どもの育ちにとって「遊び」がとても大切だということでした。 子どもが「これをやってみたい」という思いから始まる遊びは、自分で考えたり、試したり、友達と相談したりしながら、少しずつ形になっていきます。その過程には、子どもらしい発見や学びがたくさんつまっています。こうした経験は、小学校以降の学びにもつながっていく大切な土台になります。

夏休み中の長時間保育では、水遊びを楽しみました。4･5歳児は、プールに入るイルカグループと、花壇前で水遊びをするペンギングループに分かれ、どちらで遊ぶかを自分で選んで楽しみます。その中で、５歳児になると、「水に顔をつけられるようになりたい」とめあてをもって挑戦する姿も見られました。先生は、楽しみながら無理なく、挑戦できるようにしていますが、どこをどのように頑張るかは子ども自身が決めます。 顔を水につけることは勇気のいることですが、子どもたちは自分のペースで少しずつ挑戦し、できることが増えていきました。その姿はとても頼もしく、子どもが自分で育っていく力を感じます。

こうした「夢中になって挑戦する姿」は、まさに遊びの大切な姿です。 俵万智さんのエッセイに、勉強を終えて「疲れた～」と言った息子さんに、「遊んでいるときは全然疲れないのにね」と嫌味を言ったところ、「集中は疲れるけれど、夢中は疲れないの」と返ってきたという一節があります。子どもが自分で見つけた遊びは、面白いからこそ続き、夢中になることでさらに深まり、学びが豊かになっていきます。

大人の役割は、子どもたちが「面白い」と感じていることに気付き、その経験の中にある育ちをそっと支えることです。先生たちは毎日、子どもたちが安心して自分らしく過ごし、遊びの中でたくさんの経験が積み重なるように、環境づくりや声掛けを工夫しています。

研修で学んだことを保育に生かしながら、２学期も子どもたち一人ひとりの育ちを大切にし、豊かな時間を過ごせるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。





子どもたちの様子と今月のねらい





３歳児　うさぎ組

夏季休業中は、ご家族で楽しいひと時を過ごされましたでしょうか。『なつのきろく』をみんなで見ながら、楽しい思い出に花を咲かせて２学期をスタートさせていきます。

９月２週目まではプール活動を楽しみます。まだまだ暑さが続きますので、水の心地よさを全身で感じながら遊んでいきます。気温を見て、園庭で体を動かして遊ぶことも計画しています。園で楽しく遊びながら、少しずつ園生活のリズムを思い出せるようにしていきます。

＜今月のねらい＞

○自分のやりたい遊びを見付け、保育者や他の幼児と楽しむ。

○保育者や他の幼児と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。

○生活のリズムを取り戻し、自分でできる身支度は自分でやってみようとする。

＜家庭との連携＞

新学期が始まり、ワクワクして登園する姿もあれば、ドキドキしたり不安になったりする姿もあるかもしれません。園では、一人ひとりと丁寧に関わりながら、自分のペースで園生活のリズムを思い出せるように援助していきます。ご家庭でも気になる様子がありましたら、いつでもお知らせください。



４歳児 くま組

夏の生活、健康に楽しく過ごせましたでしょうか。２学期も元気いっぱい、遊びや生活を進めていきましょう。２学期の初めは、１学期や夏の間に楽しんだことを再現したりしながら、子供園での生活を安心して始められるようにします。生活面も丁寧に見ながら、園生活のリズムが整うように支えていきます。

９月上旬はプール遊びを通して水の中で動く心地よさを感じられるようにしていきます。園庭やホールで、走る、投げる、跳ぶなど体を動かすことも楽しみます。自分なりに取り組もうとする気持ちを認め、楽しさやできるようになる喜びにつなげていきます。

＜今月のねらい＞

○興味や関心をもって自分から関わり、様々な遊びを楽しむ。

○友達との関わりを楽しみながら、自分の思いを言葉や動きに出して遊ぶことを楽しむ。

○戸外で友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

○園での生活の仕方を思い出し、自分から取り組もうとする。

＜家庭との連携＞

９月からおひさまグループ（短時間）の降園時間が１４時００分になります。それに伴い、ほしグループ(長時間)のお昼寝時間も変わります(１４時００分～１５時)。活動時間が長くなり、夏の疲れも出てくる時期です。ご家庭ではゆっくり休み、体調を整えるようにしましょう。





５歳児　ぞう組

本日より２学期が始まりました。どのような夏休みを過ごされましたか？夏季休業中、ほしグループの子どもたちは、水遊びやプール遊びで水の気持ちよさを十分に感じて動いたり、ボディーペインティングを楽しんだりして過ごしました。

今月も暑い日が続きそうですので、引き続き水遊びやプール遊びを楽しんだり、夏に経験したことを再現して遊んだりすることを楽しめるようにしていきます。また、来月の運動会に向けて、友達と一緒に体を動かす楽しさを感じることが出来るように環境を工夫していきます。必要なことに自分たちで気づいて進めようとする姿も支えていきます。

＜今月のねらい＞

○友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じ、繰り返し取り組んだり、挑戦したりする。

○共通のめあてに向けて、友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わい、つながりを感じる。

○１日の生活の流れに見通しをもち、自分たちで生活を進めようとする。

＜家庭との連携＞

今月は、いろいろな運動遊びに取り組んでいきます。お子さんから楽しかったことや頑張っていること等、たくさん話を聞く中で頑張る姿を見守ったり、励ましたりして認める関わりを大切にしていきましょう。

また、暑さが残る中での活動で、疲れも出てくると思います。ご家庭でも十分な休養をとってくださいね。



ほしグループ　長時間保育

３学年で楽しく過ごした夏休みが明けました。ほしグループの子どもたちは、夏休みの間に学年の枠を超えた友達とたくさんの経験をして、刺激を受け、元気いっぱい過ごすことができました。また、収穫したてのスイカや夏野菜を食べたり、たくさんプール活動や水遊びをしたりと、夏ならではの体験をたくさん楽しむことができました。水鉄砲やピザパーティーなどのお楽しみもたくさんありました。大きな事故や怪我がなく、一人ひとりが楽しい夏を過ごせたことを嬉しく思います。

いよいよ、いろいろな楽しい行事のある２学期が始まります。気候もよくなり、どの学年も今まで以上に、体を動かす機会も増えていきます。日中に頭も体もたくさん動かす分、夕方は疲れが見られたり、気持ちが落ち着かなくなったりすることが予想されます。長時間保育では、一人ひとりがゆったりとやりたい遊びをして過ごし、明日への元気とパワーを蓄えていける時間にしていきます。

